

【科目名】 物理療法学実習		【担当教員】 浅海 岩生、星野 浩通、北村 拓也 (メールアドレス) igasami@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月曜～金曜:8:30-18:00
【授業区分】 専門分野 (理学療法治療学)	【授業コード】 3-17-0605-0-1	
【開講時期】 3 年次・前期	【選択必修】 必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 23 コマ	
【注意事項】		
(受講者に関わる情報・履修条件)		
<ul style="list-style-type: none"> ・「物理療法学」を既に受講しているものを対象とする。 		
(受講のルールに関わる情報・予備知識)		
<ul style="list-style-type: none"> ・この講義は事前にビデオ学修をしておくことが前提です。(ビデオには小テストが含まれます。) ・ビデオ学修については初回の授業で説明する。 		
【講義概要】		
(目的) 物理療法学を踏まえて各種の物理療法を学生相互で体験し、その適切な使用法を学修することを目的とする。また、各種物理療法が生体に与える影響についても実技を通して確認し、物理療法機器の危険性と安全性の理解を図ると同時に、物理療法効果を確認する。		
(方法) 専任教員の指導を仰ぎながら各種の物理療法を学生間で実施する実習と中心とした授業形態とする。		
【一般教育目標(GIO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種の物理療法機器の取り扱いと治療適応について知る。 		
【行動目標(SBO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・自立して物理療法機器の操作と治療判断ができる。 		
【教科書・リザーブドブック】		
<ul style="list-style-type: none"> ・細田多穂(監修);理学療法学テキスト(改定第2版)、南江堂、2013 ¥4500 (2 年次購入) 		
【参考書】		
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		
【評価に関わる情報】		
(評価の基準・方法)		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習内において随時レポート作成を課する。成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合			20	25	20	25		10	100 点
評価指標	取り込む力・知識		10			25			35
	思考・推論・創造の力		10	25					35
	コラボレーションとリーダーシップ				10				10
	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢							10	10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	オリエンテーション(浅海) ・実習の方法の説明、グループ分け	講義(運動解析室・水治療法室)			・ビデオ学修 ・次回実習の範囲を復習しておく。ビデオ学修		20 分 20 分		
2・3	・各種物理療法機器の取り扱い実習(1,2) (浅海・星野)	実習(運動解析室・水治療法室)			・ビデオ学修 ・実施した内容と次回実習の範囲を復習しておく。		30 分 30 分		
4・5	・各種物理療法機器の取り扱い実習(3,4) (浅海・星野)	実習(運動解析室・水治療法室)			・ビデオ学修 ・実施した内容と次回実習の範囲を復習しておく。		30 分 30 分		
6・7	・各種物理療法機器の取り扱い実習(5,6) (浅海・星野)	実習(運動解析室・水治療法室)			・ビデオ学修 ・実施した内容と次回実習の範囲を復習しておく。		30 分 30 分		
8・9	・各種物理療法機器の取り扱い実習(7,8) (浅海・星野・北村)	実習(運動解析室・水治療法室)			・ビデオ学修 ・実施した内容を復習しておく。		30 分 30 分		
10・11	・症例研究(1) (星野) ・症例研究(2) (星野)	演習(一般教室)			・擬症例について自分の考えをまとめる。		30 分		
12・13	・症例研究(3) (星野) ・症例研究(4) (星野)	演習(一般教室)			・実験計画と使用機器のチェックを行っておく。		30 分		
14・15	・生理学的効果実験(1) (浅海) ・生理学的効果実験(2) (浅海)	実習(運動解析室・水治療法室)			・データの整理 ・文献収集		30 分 30 分		
16・17	・生理学的効果実験(3) (浅海) ・生理学的効果実験(4) (浅海)	実習(運動解析室・水治療法室)			・データ整理 ・文献収集		30 分 30 分		
18・19	・生理学的効果実験(5) (浅海) ・生理学的効果実験(6) (浅海)	実習(運動解析室・水治療法室)			・データ整理 ・発表原稿、抄録の準備		30 分 60 分		

平成 26～28 年度入学者用

		室)		
20・ 21	・ 実験結果発表(1) (浅海) ・ 実験結果発表(2) (浅海)	演習(一般教室)	・ 提出レポートの作成	120分
22・ 23	・ 実技テスト(1) (浅海・星野・北村) ・ 実技テスト(2) (浅海・星野・北村)	実習(運動解析室・水治療室)	・ 実技テストに備えて全ての療法について復習すること。	120分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。